

令和4年度愛知県高等学校女子サッカー大会要項

- 1, 主 催 愛知県教育委員会 愛知県高等学校体育連盟
- 2, 期 日 令和4年7月 9日(土)、16日(土)、23日(土)
準決勝以降 該当校により日程調整
- 3, 会 場 清林館高校、一宮商業高校、時習館高校、旭丘高校、豊川高校、春日井商業高校、松蔭高校
- 4, 試合方法 トーナメント方式により優勝から第3位までを決定する。試合時間は60分(30分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバル(前半終了後から後半開始まで)は原則として10分間とする。勝敗の決しない場合はペナルティーキック方式(5名)により勝敗を決定する。
- 5, 競技規則 (1) 試合の競技規則は2021/22年(公財)日本サッカー協会競技規則による。
(2) 大会参加申し込みした選手のうち、各試合の登録選手は最大20名とし、交代できる人数は9名までとする。
(3) ベンチ入りできる人数は最大15名(交代要員9名、役員6名)とする。
(4) 熱中症対策および感染症対策により、当日の天候等にかかわらず全試合飲水タイムを採用し、主審及び大会本部の協議により Cooling Break を採用する。
- 6, 警告・退場 (1) 本大会において警告を2回受けた選手は次の1試合に出場することができない。
(2) 本大会において退場を命じられた選手は自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会で決定する。
- 7, ユニフォーム サブユニフォームを持参する。背番号は1~30番に統一する。
※アンダーシャツ、アンダーショーツの色はチーム内で統一すれば色は問わない。
- 8, 試合球 当該チーム持ち寄り
- 9, 引率者 引率教員のないチームは失格とする。試合時間30分前までにメンバー表を本部までに提出する。
- 10, 表 彰 1位~3位まで賞状授与。
- 11, その他 (1) 棄権の場合は前日までに相手校・会場校顧問に連絡する。
(2) 試合中の選手の負傷は、各チームで対処する。
(3) 治療のための初診料は当方で負担するがその後の責任は負わない。
(4) 会場校に迷惑のかかる行為は絶対に行わない。
(5) 各チーム1試合目のときに、選手証のチェックを行う。

(6) 今年度大会の1～4位のチームは次年度大会のシード権を得る。

1位：第1シード 2位：第2シード 3位：第3シード 4位：第4シード
シード以外はフリーな抽選によって組合せを確定させる。

(7) 感染症・熱中症対策について

コロナ対策の一環として、飲水用のボトルの回し飲みは行わない。

観客については会場の規定による。ただし、感染状況によって無観客になりうる。

上記以外の対応については別紙の通りとする。

(8) 落雷・地震等について

落雷・地震等への対応は、関係者・観客等の安全確保を最優先とし、いかなる事情があってもこれより優先されることはない。

落雷・地震等の予兆や発生があった場合は選手・関係者・観客等の安全・健康を最優先とし、試合の中断・中止・延期等も有り得る。

落雷・地震等の確認時に大会本部の判断として、開始前は最大 30 分待機させることが出来る。

既に試合が始まっている場合は同じく大会本部の判断で中断の旨を主審に伝え、主審の権限にてその場で試合を中断させ、再開までに最大 30 分待機をすることが出来る。

30 分が経過した場合、主審・対戦チームの代表者・大会本部の協議により中止・延期等の判断を行う。協議が成立しない場合は大会本部の判断を優先するが、中止・延期の最終決定は主審によって行われる。

試合の中断時間が 30 分を超えた場合、試合時間が 60 分の 1/2 (31 分) を経過しており、かつ一方のチームがリードしている場合はその試合は成立したものとする。

試合時間が 60 分の 1/2 に満たない場合は再試合とする。

再試合については中止試合当日にチーム代表者・大会本部による協議にて決定する。

再試合・延期等で試合日程に変更があった場合、会場・審判については大会事務局及び当該チームで協力して確保する。

その他自然災害や不慮の事故等の対応について

試合実施の判断や試合成立については、原則落雷時の対応に準じることとする。

発生した事象により対応できない場合は、大会本部により協議の上対応する